

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2021/4/23	使用開始日		
登録診療科	血液内科	申請医師	松永 一美	化学療法委員会承認年月 年 月
レジメン名	R-ICE(modified) (非ホジキンリンパ腫)			
疾患名	非ホジキンリンパ腫			
適応分類		適応の備考		
1コース日数	28	日間	総コース数	3
抗がん剤投与量・投与日		リツキシマブ375mg/m ² day1、イホマイド1200mg/m ² day2～6、カルボプラチン400mg/m ² day2、エトポシド100mg/m ² day2～6		
投与スケジュール		day1: 10時～12時 12時～14時 14時～16時 16時～18時 day2～6: 10時～12時 12時～14時 14時～16時 16時～18時		

投与順	ルート・方法	薬 剤 名	投 与 量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																										
	点滴静注			/																												
	プライミング用																															
2	主ルート	生食500mL	0.675	本 / ㎡		●																										
	点滴静注	リツキシマブ注	375	mg / ㎡	下記																											
	10倍に希釈する。																															
3	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●																										
	点滴静注			/																												
4	側管①	生食250mL	1	本 / body	30 分	●																										
	点滴静注	ホスアプレビダント注150mg	1	本 / body																												
5	側管①	クラニセトロン注ハガ1mg/50mL	1	本 / body	30 分	●	●	●	●	●																						
	点滴静注			/																												
6	側管①	生食500mL	1	本 / body		●	●	●	●	●																						
	点滴静注	イホマイド	1200	mg / ㎡	2 時間	●	●	●	●	●																						
	閉鎖式システム使用																															
7	側管②	ウロミテキサン	400	mg / ㎡	5 分	●	●	●	●	●																						
	点滴静注	生食50mL	1	本 / body		●	●	●	●	●																						
	イホマイド開始時に同時に投与する																															
8	側管①	生食500mL	1	本 / body		●	●	●	●	●																						
	点滴静注	エトポシド注	100	mg / ㎡	2 時間	●	●	●	●	●																						
	100mg当たり、250mLの生食または5%ブドウ糖液に混和する。																															
9	側管①	生食250mL	1	本 / body		●																										
	点滴静注	カルボプラチン	400	mg / ㎡	1 時間	●																										
	AUCではなく体表面積で計算する																															
10	側管②	ウロミテキサン	400	mg / ㎡	5 分	●	●	●	●	●																						
	点滴静注	生食50mL	1	本 / body		●	●	●	●	●																						
	イホマイド投与4時間後に投与																															
11	側管①	生食50mL	1	本 / body		●	●	●	●	●																						
	点滴静注			/																												
	ルートフラッシュ用																															
12	側管②	ウロミテキサン	400	mg / ㎡	5 分	●	●	●	●	●																						
	点滴静注	生食50mL	1	本 / body		●	●	●	●	●																						
	イホマイド投与8時間後に投与																															
		ボララミン錠2mg	1～3	錠 / body		●																										
	経口投与	ジクロフェナクNa錠25mg	1	錠 / body																												
	リツキシマブ投与の30分前																															

【投与上の注意】

- ・エトポシド: DEHPフリー点滴セット使用。
- ・イホマイド: 主ルートから十分なハイドレーションを行う
- ・ウロミテキサン: イホマイド1日量の20%相当量を1回量としてイホマイド投与時、4時間後、8時間後に静脈内注射するが、メナ1日量としてイホマイド1日量の最大100%相当量まで投与できる。
- ・day7よりGCSF75～100 μ g皮下注開始(WBC>10000/ μ L回復まで)
- ・ホスアプレビダントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。
- ・ホスアプレビダントは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。
- ・ホスアプレビダントの次に5-HT3受容体拮抗薬を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。
- ・リツキシマブ: 前投薬としてボララミン(2)1～3錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。
- ・リツキシマブ: 初回はECGモニターをつける。

リツキシマブ: 投与速度 初回は50mL/hで開始し、30分毎に50mL/hずつ上げ、最大400mL/hまで。

リツキシマブ: 投与速度 2回目以降は、医師の指示により、投与方法①、②から選択

投与方法①: 初回投与時に発現した副作用 が軽微な場合、100mL/hで開始、30分毎に100mL/hずつ上げ、最大400mL/hまで。

投与方法②: 臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/ μ L未満の場合、最初の30分で投与量の20%を投与、残り60分で投与量の80%を投与(90分間で投与)。

- ・カルボプラチン: AUCではなく体表面積で計算する。